

大型動物捕獲要望に対する注意事項

シカ・シノシシ等の大型動物の捕獲を要望する場合は「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」により制限があります。必ず、つぎのことを守ってください。

また大型動物に対する捕獲要望書は農会長又は自治会長など、地域の代表の方が記入・提出してください。個人からの申請については受理できませんのでご了承ください。

1 金属柵の点検

要望書提出後、駆除要望地近辺に設置してある**金属柵に穴が開いていないか点検し修繕**をお願いします。穴が開いている場合、捕獲しても効果が薄くなります。

2 駆除方法

駆除活動については、猟友会に依頼するため、駆除方法については猟友会が要望書の地図及び現地調査の上、「銃猟」か「わな猟」か決められます。**(要望者から捕獲方法の指定はできません。)**

現地調査及び捕獲方法が「**わな猟**」になる場合は、**農会（自治会）の立会**をお願いします。

ア 銃器による駆除

要望書提出後、駆除要望地に電気柵が設置してある場合は、昼間は電源を切ってください。

イ 箱わなによる駆除

捕獲方法が箱わなになった場合、設置箇所の立会と地権者の了解をお願いします。

箱わなに入れる**エサは、農会（自治会）で用意**してください。また、捕獲できているかどうかの見回りをお願いします。

ウ くくりワナによる駆除

銃器・箱わな等による駆除が難しい場所等ではくくりワナによる駆除を行う場合があります。周辺にくくりワナ設置のプレートを掲示しますが、近づかないようお願いします。

3 箱わなで大型動物が捕れた場合

大型動物が箱わなに入って捕れた場合、各支所か農林振興課までご連絡ください。農会（自治会）での移動や処分はできませんのでご注意ください。

4 箱わなにツキノワグマが入った場合

ツキノワグマについては県による捕獲の許可が無い場合、その地域内で放獣する必要があります。殺処分を希望する場合は有害鳥獣捕獲要望書とセットでツキノワグマ殺処分の要望書を提出してください。

ただし、要望書の提出後、県の許可が出るまでは期間がありますのでご了承ください。また、年間の捕獲可能頭数が決まっていますので、許可が出ている場合でも殺処分が出来ない場合があります。

【裏面に続く】

5 要望書に対する駆除活動の回数及び期間

大型動物の捕獲の有無に関わらず、**要望書に対して、銃器による駆除活動は原則 1 回、箱わなの場合は 1 か月を目安とします。**

駆除活動後も、大型動物による被害がある場合は、**再度「要望書」の提出**をお願いします。

箱わなについては数に限りがあり、**要望件数によっては、設置までお待ちいただくことがあります。**

6 箱わなの管理について

市補助金等で購入された箱わなについては、**有害捕獲期間のみ使用可能**です。

期間終了後は、**市猟友会との申し合わせにより、必ず、公民館等に引き上げて、施錠**をお願いします。

以上の注意事項を必ず守っていただくようお願いします。

連絡先《農林振興課》TEL 88-5028